

地域全体で学校づくり

竜丘らしいコミュニティスクール

今年度からスタートするコミュニティスクール。学校ではどんなことが行われ、地域に住む我々はどうのように関わっていきけるのでしょうか？地域の宝をみんな育てる取り組みを、よりよい活動に育てていきましょう。

そもそもコミュニティスクール（以下CS）とは？竜丘ではどのように行われるのか？少し考えてみましょう。

CSの制度とその現状

CS制度は二〇〇四年九月に文部科学省によってスタートしました。CSに取り組む学校には保護者や地域住民などから構成される学校運営協議会が設置されます。学校運営協議会の役割は「校長の作成する学校運営の基本方針を承認する」、「学校運営に関する意見を教育委員会又は校長に述べる」、「教職員の任用に関して教育委員会に意見が述べられる」の三つがあり、学校現場を監視することができ、強い要求ができる組織ということになります。しかし、そのような「強い」学校運営協議会の設置には教育委員会や学校だけでなく、保護者や地域住民も二の足を踏みました。そこで現在は多くの自治体で、保護者や地域住民らによる「学校応援団」的な組織として位置づけています。そのため、制度発足直後には全国で十七校のCS実施校でしたが、二〇一三年度には一、五七〇校となり、徐々に増えてきています。しかし、まだCSに取り組む学校は少ないのが実情であり、文部科学省は、二〇一六年度の五年間で、全国の公立小中学校の一角に当たる約三、〇〇〇

校を目標に掲げています。

飯田市の取り組み

では飯田市の学校運営協議会はどうのような性格づけがされているのでしょうか。規則では協議会の目的を、「教育委員会及び校長の権限と責任の下、学校と保護者及び地域住民等との信頼関係を深め、地域の創意工夫を生かした、よりよい教育の実現に取り組む」こととし、「学校運営に関する基本的な方針の承認」「学校評価」「学校支援」の三つを行うこととしています。

「学校評価」については児童・生徒や保護者を対象とした学校からのアンケートなどを行ってご存じかと思えます。平成二十六年で公立小中学校の学校関係者評価の実施率も95%を超えており、多くの学校で実施され定着してきています。

竜丘らしいCS

今回のCSで最も大きく変わり、多くの人が関わる部分は「学校支援」でしょう。しかし竜丘小学校ではすでに学校支援活動（丘のみちしるべ探索・あぐりの田んぼ・水辺の楽校など）が行われおり、学校支援という土台



人口	6,914人
男子	3,368人
女子	3,546人
世帯数	2,548戸
(29年4月末現在)	

駐在紹介



交通安全について

山田慎一郎

飯田警察署 竜丘駐在所の山田です。

現在、飯田警察署管内の交通事故発生状況は、四月末現在で死亡事故が五件発生しており、同じ時期で前

年比プラス四件と大変厳しい状況です。事故の特徴として追突事故・出会い頭事故が多く発生しており、竜丘駐在所管内でも国道一五号沿線で事故が多く発生しています。

小中学校の通学路の安全確保のため、竜丘小学校周辺をゾーン30と設定して一年以上が経過しました。ゾ



「できる人任せ」では、いつか続かない時が来ます。

心となって児童の登下校を見守る「ぶらきよる隊」が昨年度に再結成されています。その他の昨年度の活動では「天竜川急流峡プロジェクト竹林間伐体験」「ミナト光学出前授業」「初午まつり出前授業」「丘の子YOUTU遊」などもCSの学校支援の活動として考えていでしょう。

このような活動を通して、竜丘に育つ子どもに本当に必要な教育を、学校を核としながら多くの人が考え協力していくことを通して、地域全体が繋がることがCSの大きな効果ではないでしょうか？

本年度より竜丘小学校コミュニティスクールが発足しました。「コミュニティスクール」という言葉はカタカナ表記なので、少し抵抗感があるのではないのでしょうか。一言で言うと「地域とともにある学校」となります。本年度飯田市内の全小中学校で一斉に設置されました。でも新しい事業ということではありません。本校を見てみますと、以前から他地域より積極的に「丘の子サポーター」（学校支援ボランティア）の方々にご支援をいただいていた。自由学校、あぐりの田んぼ、丘の子YOUTU遊、竜丘古墳の会、クラブ活動講師、おはなしの会、急流峡復活プロジェクトなどの方々が三月に発足したぶらきよる隊の皆様です。

今後、丘の子サポーターの方々にご支援をいただきながら「協力」ではなく「共に育てる」という立場で、「どのよう子ども達を育てるのか」という目標を共有して、学校・地域・保護者が一体となって進めていきます。地域に愛着を感じ、地域を誇れる「地域の宝」である竜丘の子ども達を大事に育てていきたいと思えます。「できる時に」「できることを」が基本です。よろしく申し上げます。

「担い手不足」と言われることがあるのに、今後の人口減少高齢化社会では問題は深刻さを増すばかりで、まさに「ブラック」な状況を招き兼ねません。自身の仕事は一生懸命が第一ですが、地域の活動は、誰もが楽しく参画できる仕組み作りが第一です。前例にとられない、思い切ってやってみるなど、創意工夫や積極的な見直しが必要です。



また、隣組を始め、公民館や自治会といった地域の活動は、みんなが忙しい仕事の合間やプライベートな時間で成り立っていますが、現在でも「事業が多過ぎる」「担い手不足」と言われることがあるのに、今後の人口減少高齢化社会では問題は深刻さを増すばかりで、まさに「ブラック」な状況を招き兼ねません。自身の仕事は一生懸命が第一ですが、地域の活動は、誰もが楽しく参画できる仕組み作りが第一です。前例にとられない、思い切ってやってみるなど、創意工夫や積極的な見直しが必要です。



「コミュニティスクール発足にあたって」

竜丘小学校 六年 木下賢陸

今年度から「コミュニティスクール」が始まるって聞きました。今まで、ミシンの授業、丘のみちしるべ探索、クラブ・丘の子YOUTU遊などで地域の方にはいろいろと教えていただきましたが、分からないことが分かるようになったり、難しいことができるようになったりしたのでうれしかったです。顔見知りの方だと話しやすいので仲良くなれて楽しいなと思いました。四月の学校の集団下校の時も、ぶらきよる隊の方が一緒に歩いてくださったので安心して帰れました。

地域の方々も、学校まで歩くことで健康になったり、子供や他の地域の方とお話しができたりに元気になるって聞きました。「コミュニティスクール」で地域の方にいろいろなことを教えていただいたり、安心・安全に生活できるように見守ってくださったりするので、今までよりも学校生活が充実できるようにしたいです。

最近、「ブラック企業」という言葉をよく耳にします。従業員に過重な負担を強い、長時間労働や過剰なノルマの常態化、セクハラやパワハラ、放置等、労働条件や就業環境が劣悪な企業を指すもので、某大手広告代理店や宅配業界といった大企業の過酷な労働環境・ブラックな側面がメディアで取り上げられたことで、より問題視されるようになりました。

しかし、「厳しい労働環境」は、どの企業にも多かれ少なかれ存在するの現実で、また、粉骨砕身、会社のために働くことが美徳とされてきた日本の企業風土は、見方によっては全体が「ブラック」まではいかなくとも「グレー」なのかも知れません。ブラック企業を肯定するつもりは毛頭ありませんが、忙しい、キツいからと、何でもかんでもブラックと一括りにすることなく、一生懸命働くことは大切にしたいものです。

また、隣組を始め、公民館や自治会といった地域の活動は、みんなが忙しい仕事の合間やプライベートな時間で成り立っていますが、現在でも「事業が多過ぎる」「担い手不足」と言われることがあるのに、今後の人口減少高齢化社会では問題は深刻さを増すばかりで、まさに「ブラック」な状況を招き兼ねません。自身の仕事は一生懸命が第一ですが、地域の活動は、誰もが楽しく参画できる仕組み作りが第一です。前例にとられない、思い切ってやってみるなど、創意工夫や積極的な見直しが必要です。

平成29年度新役員

公民館

多くの区民の参加を

公民館長 木下和彦



ひよんなことから四年振りに公民館長に復帰しました。後期高齢者ですので、一期限定で頑張りたいと思います。よろしく御協力下さい。

平成二十一年から四年間公民館長を務め、二十五年

地域自治会

節度ある自由な 気風の竜丘を

自治会長 下平勝熙



二年の任期付で地域自治会長長の任をお受けしました。元より粗野にして安直な者が無事勤め終えられるか心許ないですが、地域の皆さんの大人の許容と協力で、「普遍な竜丘」を願うものです。竜丘地区基本構想（二〇三〇年度まで）では「環境・文化地区」を目指すことになっていきます。竜丘固有の自然文化を生かした事業は、居住する全ての人が関わる事によって、互いに支えあう一体感や、地域の中で顔の見える関係が構築されるものです。

人と人、自然と人、世代

から二年間竜丘地域自治会長を務めてきましたので、公民館活動はある程度把握しているつもりです。

竜丘公民館活動のスローガン「知り合って、触れあって、学びあおう」は、正に公民館活動の神髄を言い当てています。

基本はとにかく多くの地区民に参加してもらうことに尽きます。

代表的事業は運動会と文化祭でしょうか。他地区では大変だから隔年にしようとか、やめてしまいたいという声を聞きます。

竜丘の運動会は、各分館の事前練習を三晩もするな

ど実に素晴らしいと思います。不幸にもここ二年間は雨のため運動会は中止になっていますが、今年度は多くの区民に参加いただき、盛大に開催出来たらと思います。

文化委員長

玉置一男



今年度は従来からの事業を継承しながら、新たな試みとして、人形劇フェスタの竜丘公民館公演について、観る側、演じる側、支える側みんながよりじつくりと楽しむことを目的に、公演

数を減らすこととしました。また、昨年より始めた竜丘のモノづくりに関する講演についても、今年度も地元企業のご協力を得ながら実施する計画です。

最大の事業である文化祭も盛大に開催できるよう、みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

体育委員長

竹下勝則



一年を通じて様々な事業があり、どの事業も大切ですが、一番大切なことは地域のみなさんが楽しく参加していただける事業にして

いくことであり、委員会等で一生懸命企画をしています。また、体育事業と言え一番の大事業である運動会が二年連続で雨天中止となつていきます。今年こそは開催をと思う気持ちや、今年こそは優勝を！という気持ちはどなたも一緒だと思います。一年間精一杯がんばりますのでよろしく願います。

広報委員長

下平清浩



広報委員会の仕事は、紙面を通じて、地域の現況を

環境委員長

笹岡健次



竜丘の環境委員会の長をまさか、おおせつかると思ってもいせんでしたが、宜しく願います。



地域振興委員長

伊原 聰



竜丘に住んで良かった子どもや孫に誇らしげに語ることができ、そんな地域を目指してみなさんとともに事業を推進してまいりたいと思います。

今年度安全委員長を仰せつかりました塩沢です。スタートしたばかりで、委員会の活動については分からないことばかりですが「死亡事故は出さない」、この目標にブレはありません。目標に向かい、自らも車の運転には今まで以上に気をつけながら、交通安全部会・生活安全部会ともに協力して交通安全活動を進めたいと思います。

福祉健康委員長

塩澤 隆



地域内で高齢化がますます進んでいますが、住み慣れた環境でいきいきと暮らすことができれば幸せです。その為に「生きがい」があることが大切です。「生きがい」は心の健康に繋がります。地域内や家庭内で何らかの役割を持つていて、まわりからあてにされていることが「生きがい」です。また、サークル活動やグループに参加して多くの人と話をすることも大切です。地域で計画される研修会等に自ら進んで参加していただきたいと思っています。若い方々に頼りにされながら、高齢化社会をたくましく生きていただけるよう、委員会として様々な事業等を行って行きたいと思っています。

伝達するとともに、記録としての役割を果たすこと、また、地域課題・生活課題について問題提起を行うことが大きな仕事です。

今年度は、今までの内容を基に、地域の皆さんが興味ある内容を取り上げながら、工夫をすることで館報についての関心を高めていけたらと思います。

地域の皆様には、色々な場面でご協力頂くこともあるかと思いますがどうぞ宜しくお願い致します。

民俗資料保存委員長

宮嶋聰子



地域の有形・無形の資料の収集と保存活動を通して、後世に伝えていくという地道な活動が続けていく委員会です。再び、委員長をお受けすることとなりました。ここ竜丘は文化村と言われている通り、まだまだ多くの大切なものが眠っていると思われま

のもと、多くの皆様にご理解いただけるよう、頑張りたいと思います。また、このような活動が地域の良さを見直し、発展できるきっかけとなれば幸いです。

育成委員長

田中栄司



育成委員会の大きな活動に古墳まつり・水辺の楽校交流イベントがあります。共に、地域の子どもが多様な年齢層の大人との交流を通して、たくましさと思いやり

転入

出納担当 小林史和



この度の人事異動で、龍江自治振興センターから異動でまいりました小林と申します。窓口を担当しております。出身は鼎です。微力ですが、竜丘地区の地域づくりのお手伝いをさせていただきます。ありがとうございます。

保健師 金田夕可



四月から竜丘地区でお世話になることになりました保健師の金田です。竜丘は地域の皆さんの活動がとても活発だなどという印象を受けました。そんな地域の皆さんと一緒にな

転出

お世話になりました

保健師 小椋直美

この四月から子育て支援課こども家庭応援センターに異動となりました。竜丘自治振興センターでは二年間お世話になりました。竜丘の皆様から学ばせていただいた多くの事を今後に生かし、精進していきな

出納担当 所澤賢治

窓口業務、自治会業務と慣れない仕事で大苦戦の一年でした。二年目は恩返しと

第10回 竜丘古墳まつり

第10回記念講演会

日時 6月10日(土) 夜7:00~
場所 竜丘公民館 大ホール
講師 長野県考古学会 会長 小林正春氏
内容 人馬一体で造り上げた古代ヤマト王権
~伊那谷の馬生産を背景に~

古墳まつり

~古代人になった気分で楽しく遊び、学び、体験しよう!~
日時 6月11日(日) 雨天中止
開会 9:00~(受付8:45~)
場所 塚原二子塚古墳
閉会 12:00ごろ

オープニングセレモニー

鈴岡太鼓による演奏 花の植え付け

体験イベント

勾玉づくり・火おこし体験・はにわづくり
富本銭(昔のお金)づくり・塚原古墳群クイズラリー
古代食試食コーナー・古代衣装の試着

※6:00から竜丘小6年生が作成したはにわの野焼きを行います。
※11:30頃に古墳に展示します。